

今月のスマイルさん
Everyone to be happy with a smile!



ケビンくん(7歳) ジゼリちゃん(7歳)
日本ラチーノ学院でお会いしました

フェスタ・ジュニーナを開催

6/26

甲津畑町に本年1月から開校した、ブラジル人学校の日本ラチーノ学院で、同国の国民的イベント「フェスタ・ジュニーナ」が開催され、約100人の生徒とその保護者らが祭の衣装を身にまといダンスなどを楽しみました。

男の子はジーンズやチエック柄のシャツに麦わら帽子、また女の子は頬にそばかすを描き、少し派手なドレスを身にまとい登場。いずれも同国の農夫婦をイメージしたもので、祭の特徴的な衣装です。生徒らは男女ペアで腕を組んで回ったり、踊り歩いたりするクアドリーリヤと呼ばれるダンスを披露。また手の込んだブラジル料理を持ち寄って食事もしました。



保育の仕事 就職フェア

6/27

「保育の仕事 就職フェア」が市役所本庁舎新館会議室にて開催されました。本市で開催する同就職フェアは3回目で、過去最多の42人(うち市外から13人)の参加がありました。



▲ブースで現場の話を聞く学生

現役保育士による手遊び紹介で緊張した雰囲気緩和された後、市内の保育園で働く保育士2人が、仕事のやりがいや同僚や先輩の支えでつらい時期を乗り越えたことなどの体験談を語り、身近な先輩保育士の話に興味をもとる参加者の姿が見られました。



▲現場でも使える手遊び体験



建部里まつりを初開催

6/21

河辺いきものの森で「建部里まつり」が初めて開催されました。午前中は森を散策するクイズラリーや勉強会、午後は竹の薄切り大会などが行われました。

黒川葵くん(八日市北小1年生)は「昔の遊びを覚えてもらえて楽しかった。水鉄砲を作ったので、ずぶ濡れになった。家に持って帰って遊びたい。」と話しました。

6/19

あま〜い初夏の味を堪能 みんな大好きメロン給食

愛東地区の幼稚園・保育園・小学校で「メロン給食」が実施されました。これは、地元の上岸本温室組合の好意により、約20年前から「あいつメロン」を無償で提供いただいているものです。今年約400食分となる30玉のメロンが提供されました。

①メロンを切り分ける調理員さん②「いただきまーす!」③おいしいメロンをありがとう



愛東南小学校では、調理員さんが約10玉のメロンを手際よく切り分け、給食の時間にすると児童全員のメロンが各教室にいきわたりました。ずらりと並んださわやかな緑色のメロンを給食当番がひとつひとつ丁寧に皿にのせて配っていました。

5年生の教室では「甘くておいしい」「やわらかくて果汁たっぷり」などの声があふいた。川副慧悟くん(愛東南小5年生)は、「口の中で甘みが広がって濃厚」と感想を話しました。

七夕を前に交通安全啓発

6/30

あいとうマーガレットステーション(妹町)で東近江警察署のマスコット「エスポくん」と長浜警察署の「ひよたん」がコラボして交通安全啓発を行いました。

愛東北幼稚園の5歳児14人がジュニアポリスに扮し、七夕をイメージして飾りつけた反射板などを施設来訪者に配布し、「安全運転をしてください。」と呼びかけました。



県内初出土! 石積み護岸 土位遺跡で現地説明会

7/4

愛知川の左岸に位置し、本市神田町、外町にまたがる土位遺跡から、少なくとも江戸後期までに築かれた堤防の石積み護岸遺構が発見されました。

今回発見された遺構は、愛知川の堤防と、その河川側を守る石積み護岸の一部で、滋賀県内で石積みの護岸遺構が確認されたのは初めてとなります。確認された規模は最大で長さ約17m、幅約8m、高さ約2m、石積みの護岸は、河川側の約45度の法面に30cmから40cm大の石が10段以上積み重ねられたものです。遺跡周辺は愛知川左岸の氾濫平野に位置し、河川に近いため古くから人が住み農業を営んできました。一方で水害の被害を受けやすく、1802年には近隣集落が浸水した記録が残っています。



当日は市民や歴史愛好家など約100人が詰めかけ、県文化財保護協会職員による説明を熱心に聞き入っていました。遺跡が発見された神田町生まれの大野学さん(43歳)は「普請で近くの村の人々により築かれたと聞き、驚いた。昔の人の苦労や努力はすごいと感じた。」と話されました。